

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	空家安全対策事業			事業コード	020101530131						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち		政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備		施策コード	931						
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課		所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	60・61	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市空家等対策計画		R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	空家対策事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	放置すれば倒壊等周辺に著しく有害となる恐れのある状態にある空家等に対して、所有者等の責任において適切な管理を実施するよう促し、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、生活環境の保全を図る。										
対象者	市民及び市外在住の市内建築物所有者			対象者数	78,200		単位あたりコスト	0.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	大栄工業株式会社、株式会社梅田組、中丹住工株式会社、河守工業株式会社										
事業概要 (箇条書き)	・空家等の実態調査(自治会調査及び全件の現地調査)ここまで100%終了、所有者への意向調査(約半数発送)により市内の空家等の現状を把握した。 ・所有者等への意向調査により、適切な管理を促すだけでなく、行政として対策を実施し、空家等の増加を抑制した。 ・緊急安全措置による所有者の不在の空家等の瓦や塀の撤去2件、同じく特定空家等の除却1件を実施した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	需用費	664	緊急安全措置(屋根修繕、塀撤去)、印刷製本(チラシ、意向調査返信用封筒)								
	役務費	295	郵送料(意向調査)、廃棄物引渡(草)								
	委託料	5,986	緊急安全措置(野花特定空家等除却)、城山地内解体工事後整地業務								
	使用料及び賃借料	7	高速道路通行料(所有者訪問:大阪)								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,091	5,217	1,666	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①~③)	2,091	5,217	1,666	0				
予算財源内訳	① 一般財源	2,091	0	0	0				
	② 国支出金	0	1,610	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	3,607	1,666	0				
決算情報	① 流充用額	△ 127	1,945						
	② 配当予算	1,964	7,162						
	③ 執行額	1,223	6,952						
	④ 執行率	62.3%	97.1%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.64 / 1.00	0.64 / 0.80	/	/				
	② 概算人件費	7,920	7,360						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,143	14,312						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	空家安全対策事業(社会資本整備総合交付金)	種類	総務費国庫補助金	実績金額	1,561	決算附属資料	15	頁
		空家安全対策事業基金繰入金(地域振興基金)		基金繰入金		5,331		38	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		空家倒壊等による被害	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	特定空家等の市の除却処分	戸	3 / 3	0 / 0	1 / 1	/ 0	-
	単位あたりコスト		4414.3	0.0	6952.0		
	単位あたりコスト		/	1 /	/	/	空家安全対策事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理が不適切なため危険な空家等の解消は、周辺住民の安全で安心な生活を守るための重要課題であり、中でも特に、所有者等が存在しなくなった管理不全な空家等に対しては、行政が取り組む必要性の高い事業である。</li> <li>市内の空家実態を把握し、効率的な作業を進めるため自治会に物件の抽出を依頼する1次調査と、現地を訪問し調査する2次調査により空家等の特定に努めた。</li> <li>(死亡や相続放棄により)管理者の存在しない物件において緊急安全措置を3件実施し安全を確保した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除却による危険な空家等の解消は、高いコストの回収が難しく、効率性が低いことが判明している。</li> <li>空家の実態調査及び所有者調査においては、法に基づく範囲内で、行政が保有するデータを有効活用し効率的に調査を実施した。</li> <li>所有者により対処されるよう、京阪神への直接の訪問を含み、粘り強い指導を行っている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な管理の呼びかけや、緊急安全対策により近隣住民の安心・安全につながった。</li> <li>空家実態の調査進捗により市内の空家の特定と所有者意向の確認が進んだ。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>所有者の緊急安全措置といった行政による強制的な介入を駆使しつつ、建物周辺の生活環境を保全することができている。</li> <li>空家実態の調査により市内の空家傾向を把握しつつあり、根拠のある施策の展開ができる。</li> </ul> <p>【課題】 危険な空家等の解消は、周辺の市民の安全で安心な生活のために喫緊の重要課題である。しかし行政による除却は効率性が低く、所有者による適切な管理又は除却を一層促進しなければならない。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家対策事業において、所有者等への指導や助言、将来の相続人を含む周辺への啓発と相談会を実施しており、所有者等による利活用や除却を推進することで管理不全となる空家等数の増加を抑制する。</li> <li>空家実態調査の結果を明確にし、地域ごとの実態や増減の傾向、発生経過などを整理し、施策に反映する。</li> <li>管理責任を持つ所有者等へ的確な情報提供を行い、本市が危惧している、空家を放置することに伴う事件・事故、損害賠償責任による危機感を共有する。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	住所等に関する検討事業			事業コード	020101202301						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち		政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備			施策コード	931					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課		所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	60	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-		R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	住居表示に関する法律、地方自治法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	字天田や字堀等の市内の広範囲で、住民票の住所のほか行政区(≒自治会)など複数の住所の表記方法がある現状について、検討会の開催と、並行して対象者の意識調査を進め、今後の対応を含めてまとめる。										
対象者	上記の範囲内に住所をおかれている市民			対象者数	39,000		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	-										
事業概要 (箇条書き)	・検討会の設置・実施(年3回) ・対象地域居住者(1000人抽出)へのアンケートの実施 ・住所表記の変更を希望される方のためのガイドライン(案)作成										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容							
	報償費	225		検討会委員謝礼							
	旅費	18		委員費用弁償、事前説明							
	需用費	64		消耗品							
	役務費	160		アンケート郵送料							
使用料及び賃借料	6		高速道路通行料(事前説明)								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	562	0	0	0	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
	小計(①~③)	0	562	0	0	0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	562	0	0	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	55						
	② 配当予算	0	617						
	③ 執行額	0	473						
	④ 執行率	0.0%	76.7%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.00 / 0.00	0.40 / 0.00						
	② 概算人件費	0	3,200						
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	0	3,673							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	検討会結果まとめの公表	件	/	/	1 / 1	/	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	検討会の実施	回	/	/	3 / 3	/	3
	単位あたりコスト				157.7		
	アンケート回収数	件	/	3 /	400 / 1000	/	住所等に関する検討事業
単位あたりコスト				1.2			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民生活の利便性向上に寄与すると考えられる住所表記について、昭和の議会請願以来初めて、外部有識者による検討会を設置し、市民の声をアンケートとして集めた。</li> <li>生活にかかわる事項であり、市民の声が最も重要な判断基準のためである。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の声は、郵送によるアンケート1000件と、誰でも意見を述べられる電子申請を活用した募集コンテンツを並行することで、コストを軽減し、幅広い層から効率的に意見を集約できるよう実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の率直な意見を聞かせてもらった。統計学上、過半数の方は「いまのままでよい」と考えておられることが確認できた。</li> <li>検討会の各委員からは、アンケート結果を踏まえたうえで、専門的な知見からの意見が聞けた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>一定の方向性を定めることができた。住所表記については、多数の対象者が「いまのままでよい」と考えているが、表記を変えたいという声もあり、変更の手法についてのガイドライン案を作成した。</li> <li>詳細については、令和6年度に関係する部署や外部組織との協議のうえで決定する。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討は令和5年度に終了する。令和6年度は、検討会の意見を参考に、モデル地区を選定し地域に入り説明会等の活動をする。</li> <li>説明会、アンケートといったアプローチを行い、最も重要な、対象となる市民の意見を確認する。</li> <li>賛同意見が多ければ、その区域で町界町名の変更手続きを進める。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	空家対策事業			事業コード	020101530144						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち		政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備			施策コード	931					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課		所属長	片岡 まり子						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	61	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市空家等再作計画			R6現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、福知山市空家等の適正管理に関する条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	空家安全対策事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	適切な管理がされず長期間にわたり放置されている空家等について調査し、所有者等に対して住宅の適切な管理に必要な助言・指導、勧告等を行い、住環境の整備を図る。										
対象者	市民及び市外在住の市内建築物所有者			対象者数	78,200		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	一般社団法人福知山地域振興社										
事業概要 (箇条書き)	○福知山市空家等対策協議会を実施し、特定空家等の認定や施策を協議した。(10月・2月) ○管理が不適切な空家等の所有者等への情報提供をはじめ助言や指導を行い、適正な管理を促した。 ○空家等で損壊等があると把握している物件について、危険度を判定し、所有者等に対し適切な管理について助言・指導した。 ○協定を締結している団体の協力により、専門的知識をもった相談員による無料相談会を開催した。(2回)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容							
	報酬	102		協議会委員報酬							
	旅費	61		費用弁償、特定空家等所有者訪問							
	需用費、役務費	43		消耗品、郵送料							
	委託料	4,909		空家現地調査及び移住希望者対象企画立案実施							
使用料及び賃借料	3		訪問時駐車料								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,145	6,338	459	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	2,145	6,338	459	0	
予算財源内訳	① 一般財源	2,145	6,338	459	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	127	△ 1,027			
	② 配当予算	2,272	5,311			
	③ 執行額	1,957	5,118			
	④ 執行率	86.1%	96.4%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.79 / 1.00	0.66 / 0.20	/	/	
	② 概算人件費	9,120	5,840			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,077	10,958				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		空家倒壊等による被害	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	協議会開催回数	回	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		818.0	978.5	2559.0		
	空家調査戸数	戸	127 / 95	5143 / 105	118 / 82	/ 78	空家対策事業
単位あたりコスト		12.9	13.7	43.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大前提として、空家は所有者が管理するべきであるが、人口減少や少子高齢化など様々な理由により、管理不全となり、地域住民の生活環境に悪影響を与えている事例がある。</li> <li>周辺から苦情・相談のあった空家等の所有者や連絡先を調査し、是正を依頼することは個人や民間事業者では困難であり、市で調査し助言・指導を行った。</li> <li>周辺に著しく悪影響を与える空家等を「特定空家等」に認定し、適切に対処した。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理が不適切なため周辺から苦情・相談のあった空家等の所有者等へ働きかけ、適正な管理を促した。</li> <li>空き家(=管理されているが使用されていない物件を含んで)発生を抑制するため、相談や勉強会等の機会を捉え「元気なうちから(所有者と相続権者)みんなで家の未来を考える」啓発を進めた。</li> <li>協定を締結している専門家団体と、費用負担なく協力体制を構築しており、専門的知識を持った相談員として空家所有者向けの無料相談会を2回実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に存在する管理が不適切な空家等の詳細を把握し、所有者に対して意向確認をすることにより、問題意識の喚起を行うことができた。</li> <li>所有者に対する情報提供、行政指導も実施しており、12件の管理が不適切な空家の解消を促進することができた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情や相談があり、管理が不適切な空家等は所有者を捜索して情報提供することで適正な管理を促している。情報提供により一定数の所有者に空家の管理についての必要性を認識させることができています。</li> <li>また、情報提供を経ても管理が不適切な空家等については、継続的に現況を確認し情報提供を行うことで、解体や補修・改修による解消が図られている。ただし、個別の事情が関係するため、解消されない物件が一定数発生しており、その件数を減少させる方策が必要である。</li> </ul> <p>【課題】            増加する空家等の抑制は、行政による除却や対応だけでは困難であり、所有者等や将来の相続人を含む啓発等をさらに進め、所有者等による空家等の利活用や除却を推進する必要がある。</p>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>所有者等による問題解決を図る際の支援について先進地事例を参考に検討する。また、個人の資産である空家に対する行政の関与と、市民の生活環境の保全とのバランスの取れた方法を、補助制度なども含め引き続き検討していく。</li> <li>所有者本人だけでなく将来の相続人を含めた「元気なうちからみんなで家の未来を考える」啓発をさらに進めることで効率的な啓発活動を進めていく。</li> <li>改正空家法により、管理不全空家等の枠組みが施行されたため、適切に運営していく。所有者にとって、空家等の放置が一番負担の少なかった状況から、適切に管理することが負担が少なくなるようになった状況について、周知徹底を図り、管理責任の考えを浸透させる。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	三和支所きめ細かな安心安全事業						事業コード	020110510456				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	0208000 地域振興部 三和支所				所属長	支所長 井上 浩人					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	90	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	-											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民の安心・安全な環境を確保する。										
対象者	三和地域の市民				対象者数	3,000		単位あたりコスト	0.4		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	住民の安心・安全を確保するため、重要かつ緊急に対処する必要があると支所長が判断する修繕等を実施。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容						
	需用費	513			市道大原立木線舗装修繕、市道安場線白線修繕						

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	500		500		500		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
		前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0								
小計(①~③)	500		500		500		0					
予算財源内訳	① 一般財源	500		500		500		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		13								
	② 配当予算	500		513								
	③ 執行額	499		513								
	④ 執行率	99.8%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.05 / 0.00		0.07 / 0.00		/		/				
	② 概算人件費	400		560								
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	899		1,073									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		※定性的評価		/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	道路修繕等	回	3 / 4	3 / 4	2 / 4	/ 4	-
		単位あたりコスト	166.3	166.3	256.5		
		単位あたりコスト	/	7 /	/		

三和支所きめ細かな安心安全事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害による被害などの緊急時に迅速に対処を行い、住民の安心・安全な暮らしを守るために必要な事業である。</li> <li>また、災害対応以外にも、地域の安全対策に対して危険度などから優先度を判断し、支所長裁量で早期に対応できる有効な事業である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急的な小規模事業を支所長判断により迅速に対応でき効率的である。</li> <li>修繕の実施に際しては、受注業者と効率的な施工について、調整を行った上で、実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の緊急対応だけでなく、地域住民の安心・安全を確保するための必要な修繕などに迅速に対応できる事業である。</li> <li>令和5年度においても、自治会要望のあった道路修繕を2か所実施した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度においては、地域要望があるが他部署で即時対応が困難であった市道の舗装や外側線の修繕を実施し、安心・安全な環境整備を図ることができた。</li> <li>事業の活用方針としては、出水期に発生する災害への緊急措置の原資としているが、その必要がなかった場合は、地域要望があるにもかかわらず、他部署で早期の対応が困難な事案などについて対応している。緊急性や地域の公平性も勘案しながら優先度の高い事案から実施する必要があり、優先度の設定には土木技師等の意見を聞きながら対応している。</li> </ul>		
改善策	災害などの緊急対応を想定しているが、その必要がなかった場合は、自治会要望の実施状況を考慮しながら、土木技師等のアドバイスを参考にしつつ計画的に対応していく。 支所長裁量で早期に対応が可能で市民満足度も高く、住民生活の安心・安全確保のため、今後も事業を継続する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	夜久野支所きめ細かな安心安全事業						事業コード	020110510454				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所				所属長	中島 美香					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	89・90	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	-											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	道路などの適切な維持管理や居住地の浸水対策、治山・治水対策のため、地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。											
対象者	夜久野地域住民	対象者数	2,907	単位あたりコスト	0.5							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	住民の安心安全を確保するため、重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断した事業を実施する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需要費	496	道路樹蓋修繕・道路横断溝修繕									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	500	500	500	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①~③)	500	500	500	0				
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	8	△ 4						
	② 配当予算	508	496						
	③ 執行額	508	496						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.18 / 0.01	0.12 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	1,468	960						
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	1,976	1,456							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	※定性的評価		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	実施件数	件	2 / 2	3 / 2	3 / 2	/ 2	2
	単位あたりコスト		224.5	169.3	165.3		
	単位あたりコスト		/	9 /	/		

夜久野支所きめ細かな安心安全事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	地域自治会からの要望を元に、夜久野地域における住民生活の安心・安全確保のために緊急対応を実施するため本事業は必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	道路管理上一般的に実施される工法と現地で必要な工法を比較し、必要な工法のみを実施することで、コスト縮減に努める。 自治会要望の中で緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	地域の実情に合わせた適切な対応が出来ることから有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	自治会要望の中から優先度と緊急性を考慮し、道路の修繕等を支所長裁量で実施することにより、住民生活の安心安全を確保することができた。		
改善策	きめ細かな対応ができることから市民満足度も高く、今後も事業を継続することで、住民生活の安心・安全確保を更に図るようにする。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	大江支所きめ細かな安心安全事業						事業コード	020110510455				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所				所属長	神内 明宏					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	90	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	-											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	大江地域での迅速で、きめ細かい対応による市民満足度の向上を図る。										
対象者	大江地域の住民				対象者数	3,913		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	タキノデンキ(株)										
事業概要 (箇条書き)	・地元住民が使用する蜂防護服の調達。 ・地元旧施設解体に伴う廃棄物運搬・処理。 ・災害時等対応物品の購入。 ・道路施設修繕の実施。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	需用費	196	消耗品費(カラーコーン等) 修繕料(ガードパイプ基礎)								
	役務費	5	手数料(ごみ処理手数料)								
	委託料	50	委託料(廃棄物運搬・処理)								
	備品購入費	236	庁用備品(空調ファン付蜂防護服)								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	500	500	500	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①~③)	500	500	500	0	
予算財源内訳	① 一般財源	500	500	500	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	5	△ 13			
	② 配当予算	505	487			
	③ 執行額	505	487			
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.22 / 0.00	0.17 / 0.05	/	/	
	② 概算人件費	1,760	1,500			
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	2,265	1,987				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算附属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	※定性的評価		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	実施箇所	箇所	1 / 2	3 / 2	3 / 2	/ 2	2
		単位あたりコスト	469.0	168.3	162.3		
		単位あたりコスト	/	11 /	/		

大江支所きめ細かな安心安全事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	R5年度は、地元住民が使用する蜂防護服調達、地元旧施設解体に伴う廃棄物運搬・処理、災害時等対応物品の購入、道路施設修繕を実施した。自治会要望を精査し、また、緊急性が高い小規模修繕や役務等に迅速な対応が可能であることから、市民満足度の向上を図るうえで必要性が高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	R5年度は、地元住民が使用する蜂防護服調達、地元旧施設解体に伴う廃棄物運搬・処理、災害時等対応物品の購入、道路施設修繕を実施した。支所長権限により実施ができ、迅速かつきめ細かな対応が可能である。併せて複数の見積徴収により、経費削減に努めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	R5年度は、地元住民が使用する蜂防護服調達、地元旧施設解体に伴う廃棄物運搬・処理、災害時等対応物品の購入、道路施設修繕を実施した。小規模修繕や役務等の実施、備品購入等に限られており、各自治会からの要望対応ができ、住民生活の安心安全が図れるため、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	住民の安心安全を確保するための小規模な修繕や役務、備品や災害対応物品の購入等、速やかに対応することができた。小規模な修繕等であるため、複数の案件に対応ができることから継続的に取り組む。500千円といった限られた予算で地域内の対応であるため、多くの修繕等を実施することができないことが課題である。		
改善策	自治会要望等の精査、関係課と調整により、より多くの修繕等が実施できるよう努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	大江支所施設災害復旧事業						事業コード	130301202302			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931				
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所				所属長	神内 明宏				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	令和5年台風第7号により発生した古地川の氾濫による公園内への土砂流入、藤の根の洗掘、駐車場法面の崩壊など大きな被害を受けたオノ神の藤公園施設と京都府指定の天然記念物である藤の木の周辺環境を速やかに従前の状態に復旧する。										
対象者	来訪者(観光客及び市民)	対象者数	2,100		単位あたりコスト	0.0					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	河田建材										
事業概要 (箇条書き)	・オノ神の藤公園の災害復旧工事を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	工事請負費	0	災害復旧費								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算			0	0			
	② 補正予算	0	5,300	0	0			
	③ 繰越予算	0	△ 5,300	5,300	0			
	前年度繰越	0	0	5,300				
	次年度繰越	0	△ 5,300					
小計(①~③)	0	0	5,300	0				
予算財源内訳	① 一般財源			0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	5,300	0			
	⑤ その他特財	0	0	0	0			
決算情報	① 流充用額		0					
	② 配当予算	0	0					
	③ 執行額		0					
	④ 執行率	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	/	/	/	/			
	② 概算人件費	0	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	その他公共施設・公用施設災害復旧事業債	種類	災害復旧債	実績金額	0	決算附属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	※定性的評価		/	/	/	/	
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	令和5年台風7号により土砂流入等の被害を受けたオノ神の藤は、樹齢推定1200年と伝えられる藤の古木で、京都府の天然記念物に指定されており、藤の花が見頃をむかえる5月上旬には、毎年、地元主催のオノ神の藤まつりが開催されるなど、由良川沿いの重要な観光名所となっている。 樹木医の指導を受けながら、藤の樹勢を衰えさせないよう復旧作業を行う必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	工事の実施にあたっては、道路河川課への委任を行い、専門の知識を持った職員による設計及び工事期間中の監督を実施することにより、効率的な進捗管理を行った。 また、藤の花が見頃をむかえる5月上旬までに、オノ神の藤の根の表土入替を完了させるなど、地元や観光客等への影響が少なくなるよう作業日程が設定された。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	令和5年台風7号により土砂流入等の被害を受けたオノ神の藤公園施設と京都府指定の天然記念物である藤の木の周辺環境を速やかに従前の状態に復旧する。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	適正な工期確保のため繰越を行ったが、令和5年台風7号により土砂流入等の被害を受けたオノ神の藤公園施設と京都府指定の天然記念物である藤の木の周辺環境を速やかに従前の状態への復旧を目指す。		
改善策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	社会保障・税番号制度実施に係る整備等事業					事業コード	020301810250					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課			所属長	村上 五十鈴						
会計情報	款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費	目	01 戸籍住民基本台帳費		会計	01 一般会計	決算附属資料	99	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	-											
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	マイナポイント事業【国事業】											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	社会保障・税番号制度は、社会保障制度及び税制における給付と負担の適切な関係の維持や申請、届出、その他の行政手続きの合理化、国民の利便性の向上に資するものである。 市民課では、制度の根幹となるマイナンバーの付番やマイナンバーカードの申請・交付及び運用に係る事務を行う。											
対象者	福知山市民	対象者数	74,704		単位あたりコスト	0.4						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	マイナンバーカードの申請・交付及び運用に係る事務 マイナンバーカードへのローマ字等表記のためのシステム改修 令和6年度から「マイナンバーカード交付等推進事業」に事業名を変更し、「マイナンバーカード普及強化事業」を統合した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	役務費	671	通信運搬費(電信・電話料等、郵送料)									
	使用料及び賃借料	455	電子計算機等賃借料(マイナンバーカード申請専用タブレット)									
	備品購入費	378	その他機械器具類(プリンタ)									
	需用費	218	消耗品費(事務用品)									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	25,944	7,816	19,137	0				
	② 補正予算	0	5,674	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 10,361	10,361	0				
	前年度繰越	0	0	10,361					
	次年度繰越	0	△ 10,361						
小計(①～③)	25,944	3,129	29,498	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	25,944	3,129	29,498	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 129	△ 150						
	② 配当予算	25,815	2,979						
	③ 執行額	10,934	1,722						
	④ 執行率	42.4%	57.8%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.25 / 1.00	1.30 / 6.50	/	/				
	② 概算人件費	12,800	28,600						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	23,734	30,322							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	個人番号カード交付事業費補助金(マイナンバーカード交付事務費補助金)	種類	総務費国庫補助金	実績金額	1,303	決算附属資料	15	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		個人番号カード累計交付枚数	枚	31511 / 30815	51698 / 76568	59844 / 67924	/ 67234
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	制度に関する広報	回	2 / 2	5 / 3	3 / 3	/ 2	3
	単位あたりコスト		16269.0	2186.8	574.0		
	個人番号カード休日窓口開庁	日	24 / 20	15 <sup>31</sup> / 36	12	社会保障・税番号制度実施に係る整備等事業	
	単位あたりコスト		1355.8	352.7	143.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル社会の形成に向け、その基盤となるマイナンバーカードの普及促進は重要であり、マイナンバーカードに係る申請、交付、運用に関する事務は必要性がある。</li> <li>窓口、郵送、スマートフォンなど多様な申請方法があることの周知を行った。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請者が準備する証明写真を無料撮影するサービスを行い、申請に係る負担や経費の軽減</li> <li>マイナンバーカードを本人限定受取郵便で交付することにより、受取時の来庁が不要となり来庁する回数の負担軽減</li> <li>写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの使用により、申請にかかる負担及び経費の軽減</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン化などの行政手続きの進展には、マイナンバーカードは必要不可欠なものとなるため、マイナンバーカードの普及促進の取組は有効かつ重要である。</li> <li>窓口、郵送、スマートフォンなど多様な申請方法の案内</li> <li>写真撮影と同時にオンライン申請ができるタブレットの使用</li> <li>交付時の来庁を不要とするマイナンバーカードの郵送交付の取組の実施</li> <li>マイナンバーカードの受け取りをされていない方へ受け取りを促すため、勧奨通知の送付</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>マイナンバーカード申請専用タブレットによる申請は写真撮影と同時にオンライン申請ができ、写真撮影に係る経費や申請書作成などの負担軽減のメリットがある。また、市民課にとっても、申請書作成や郵送に係る事務などが省略できるなど事務の効率化が図れる。マイナンバーカードの受取りについても、交付時の再来庁を不要とする申請時来庁方式による交付も行った。さらに、マイナンバーカードを受取っていない方へ受取勧奨通知を送付したことは有効な取組であり、普及促進につながっている。</p> <p>マイナンバーカードを取得されていない方々にマイナンバーカードの必要性や重要性などを周知することにより取得を促し、マイナンバーカードの普及率を上げていく必要がある。</p>		
改善策	<p>マイナンバーカードの必要性・重要性についての周知広報を行う。            マイナンバーカード未取得者を分析する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	マイナンバーカード普及強化事業					事業コード	020301810282				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931				
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課			所属長	村上 五十鈴					
会計情報	款	02 総務費	項	03 戸籍住民基本台帳費	目	01 戸籍住民基本台帳費	会計	01 一般会計	決算附属資料	100	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和5年度	関連計画名	-			R6現在の状況	他事業へ統合	
根拠法令等	-										
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	マイナポイント事業【国事業】										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域等へ出向く出張申請窓口を開設するなど、マイナンバーカードの申請機会を拡大し、マイナンバーカードの取得を促進する。										
対象者	福知山市民	対象者数	74,704	単位あたりコスト	0.2						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・出張申請窓口の開設 商業施設等や自治会、施設等に outreach 出張申請窓口を開設する。 令和6年度から「社会保障・税番号制度実施に係る整備等事業」へ統合し、事業名を「マイナンバーカード交付等推進事業」に変更した。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	使用料及び賃借料	1,408	電子計算機等賃借料(マイナンバーカード申請専用タブレット)、公用車賃借料、施設使用料(出張申請窓口開設)								
	役員費	190	広告料(新聞掲載料)								
	需用費	136	消耗品費(事務用品等)、燃料費、印刷製本費(広報ふくちやま)、修繕料(モバイルルーター)								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	3,994	0	0				
	② 補正予算	17,379	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	17,379	3,994	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	17,379	3,994	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	304	0						
	② 配当予算	17,683	3,994						
	③ 執行額	9,588	1,734						
	④ 執行率	54.2%	43.4%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.49 / 0.10	0.48 / 2.70	/	/				
	② 概算人件費	4,200	11,400						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,788	13,134							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	個人番号カード交付事業費補助金(マイナンバーカード交付事務費補助金)	種類	総務費国庫補助金	実績金額	1,691	決算附属資料	15	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	出張申請によりマイナンバーカードを取得した人数	人	/	1608	/ 3000	183 / 193	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	出張申請の回数	回	/	166 / 150	91 / 89	/	89
	単位あたりコスト			57.8	19.1		
	単位あたりコスト		/	17 /	/		
	単位あたりコスト						

マイナンバーカード普及強化事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>市役所や支所に来庁するのが困難な方が身近な場所で申請ができるよう、職員が商業施設等や自治会に出向き申請書の作成サポートや写真撮影などを行い、申請の機会を設けることはマイナンバーカードの普及促進のために必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出張申請窓口の開設により、申請機会の拡充を行った。</li> <li>施設訪問により、外出が困難な方の申請機会を設けた。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード申請専用端末の使用やその場で証明写真を作成するなどによる効率的な申請受付をすることで、申請者の写真撮影に係る経費負担の軽減になる。</li> <li>申請の際に所定の手続きができればマイナンバーカードの受け取りを本人限定受取郵便で郵送する方法を活用することで、市役所へ来庁する負担を軽減する。</li> <li>マイナンバーカード申請専用端末の使用や写真撮影、申請書の作成サポートを行うことにより、申請手続きの負担軽減となる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>出張申請窓口の開設や本人限定受取郵便での受取方法の活用などによりマイナンバーカードの申請手続きが容易になり、マイナンバーカード取得の動機付けとなってマイナンバーカードの普及促進につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業施設や公共施設など身近な場所で申請できるよう出張申請窓口を開設した。</li> <li>申請時来庁方式の活用により、受取のために市役所へ来庁する負担を軽減した。</li> <li>自治会や施設訪問により外出が困難な方への申請機会を設けた。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>出張申請窓口の開設先では「市役所以外で申請ができるのは利用しやすい」という声をいただいたり、出張申請の申込みをされる自治会長様は「地域の方々がマイナンバーカードを取得しやすいように」という思いで出張申請窓口を活用いただいている。</p> <p>市役所職員が商業施設や自治会等に出向き申請窓口を開設することにより、申請における負担軽減となったり、申請者と直接話をする事でマイナンバーカードに対する理解が進みマイナンバーカードの活用も広がっていくと考える。</p> <p>自宅や施設から外出しにくい方が申請できる機会の創出</p> <p>執行率50%未満の理由については、公用車の賃借が令和6年2月までは1台で足りたこと及び施設使用料がかからないところなどを利用したことによる。</p>		
改善策	<p>引き続き市役所や支所まで来庁するのが困難な方のために、身近な場所での出張申請窓口を開設する。</p> <p>自宅や施設から外出しにくい方についても、申請機会を設けるため訪問等を行う。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	斎場施設改修事業					事業コード	040103540560					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	05030000 市民総務部 市民課				所属長	今井 宏二					
会計情報	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費		会計	01 一般会計	決算附属資料	147	頁
計画期間	開始年度	平成8年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 工事 )											
関連事業	斎場火葬棟運営管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	・人生終焉の地にふさわしい施設として、葬祭棟・火葬棟に係る設備改修工事を行う。 ・施設の老朽化に伴い、施設改修計画に基づいた計画的・継続的な改修・整備に取り組み、日々の火葬業務に支障をきたすことがないよう施設運営を行っていく。											
対象者	斎場施設使用者	対象者数	20,000	単位あたりコスト	6.9							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 工事請負 )											
委託先・実施主体等	井上(株)、(有)長田電工、(株)カネヤ、(株)宮本工業所											
事業概要 (箇条書き)	・冷暖房設備改修工事：施設内冷暖房設備老朽化による改修 ・監視カメラ設備改修その2工事：火葬棟等の監視カメラ老朽化による改修 ・正面玄関歩廊バリアフリー化工事：葬祭棟正面玄関歩廊のバリアフリー化 ・火葬炉設備改修工事：火葬炉の耐火材、炉内台車改修等及び電動台車更新											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	工事請負費	127,998	冷暖房設備改修工事、監視カメラ設備改修その2工事、正面玄関歩廊バリアフリー化工事、火葬炉設備改修工事									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	40,700	135,500	140,587	0		
	② 補正予算	0	0	0	0		
	③ 繰越予算	24,992	0	0	0		
	前年度繰越	24,992	0	0			
	次年度繰越	0	0				
小計(①～③)	65,692	135,500	140,587	0			
予算財源内訳	① 一般財源	3,392	0	0	0		
	② 国支出金	0	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0	0		
	④ 地方債	62,300	128,700	133,500	0		
	⑤ その他特財	0	6,800	7,087	0		
決算情報	① 流充用額	△ 3,464	0				
	② 配当予算	62,228	135,500				
	③ 執行額	60,734	127,998				
	④ 執行率	97.6%	94.5%				
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.09 / 0.22	1.01 / 0.40	/	/		
	② 概算人件費	9,336	9,200				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	70,070	137,198					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	斎場施設改修事業基金繰入 (公共施設等総合管理基金)	種類	基金繰入金	6,498	39	頁
		斎場施設改修事業(旧合併特例)		衛生債	121,500	52	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	葬祭棟使用件数	件	125 / 200	115 / 200	101 / 200	/ 200	200
	斎場施設改修件数	件	3 / 10	5 / 10	4 / 10	/ 10	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	火葬件数	件	1068 / 1000	1115 / 1000	1102 / 1000	/ 1000	1000
		単位あたりコスト	10.1	54.5	116.2		
			/	19 /	/	/	斎場施設改修事業
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>斎場は、社会生活において必要不可欠な施設であり、「墓地・埋葬等に関する法律」に基づき安定した火葬業務の提供が必要である。</li> <li>斎場に関わる改修事業は、故人の葬送を行う場として、最後のお別れの場に相応しい快適な空間とサービスを提供するために必要な事業である。</li> <li>R5年度の取組事業として、主に、老朽化した冷暖房設備の取替改修工事と火葬棟の監視カメラの更新を行った。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の改修における業者選定については、火葬炉工事を除き、条件付一般競争入札、指名競争入札により業者選定。必要最小限のコストになっている。</li> <li>施設改修に関わり火葬業務・運営に支障をきたすことがないよう、優先順位を考慮し効率よく事業に取り組んでいる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工後27年が経過し、毎年度消耗する設備や耐用年数が経過した設備あることから、年次計画に基づいた施設の整備を行っている。また、各種設備の保守点検業務も適正に実施している。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴い、施設改修計画に基づいた計画的・継続的な改修・整備に取り組んでいる。</li> <li>これから先、高齢社会が進んでいく中、火葬件数も増加傾向にある。常に必要不可欠な施設であることから日々の火葬業務に支障をきたすことがないよう施設運営を行っている。</li> </ul>		
改善策	人生終焉の地にふさわしい施設として、また、市民から満足していただける質の高いサービスの提供ができる施設の整備に取り組んでいく。R6年度は、火葬炉の全面改修他工事と自動ドア(21基すべて)の修繕を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	情報通信環境再整備事業						事業コード	020111140108			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立				
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931				
事業担当	所属	05100000 市民総務部 デジタル政策推進課				所属長	藤田 正美				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 地域情報化推進費	会計	01 一般会計	決算附属資料	93	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	e-ふくちやま事業再整理基本計画			R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域間情報格差の是正を目的とし、テレビ難視聴地域に対する地上デジタル放送再送信サービスや民間事業者の高速インターネット接続環境が提供されていない地域に対するインターネット接続サービスを提供している「e-ふくちやま」事業について、将来的にも顧客ニーズにあった持続可能で安定したサービス提供を図るため、事業の民営化を行った。 本事業では、民間事業者によるサービス提供に対して財政支援を行い、地上デジタル放送等の情報通信環境基盤を適切に維持する。										
対象者	「e-ふくちやま」事業サービス提供エリアの住民や法人等			対象者数	3,204	単位あたりコスト	20.7				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	(株)オプテージ										
事業概要 (箇条書き)	平成30年度に終了したe-ふくちやま事業について、e-ふくちやま事業の民営化に関して市と基本協定を締結した(株)オプテージへ運営保守にかかる財政支援を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容						
	負担金補助及び交付金	61,500			情報通信再整備事業補助金						
	使用料及び賃借料	10			福知山市移動通信用施設用地(大江橋谷局、大江市原谷局)の土地使用料						

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	61,511	61,511	61,511	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0				
	小計(①~③)	61,511	61,511	61,511	0			
予算財源内訳	① 一般財源	96	99	101	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	61,415	61,412	61,410	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	61,511	61,511					
	③ 執行額	61,510	61,510					
	④ 執行率	100.0%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.37 / 0.00	0.60 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	2,960	4,800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		64,470	66,310					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	情報通信再整備事業基金繰入(地域振興基金)	種類	基金繰入金	実績金額	21,300	37	頁
		情報通信再整備事業基金繰入(過疎地域持続的発展基金)		基金繰入金		40,000	38	決算附属資料

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
		福知山市限定コース利用件数	件	2239 / 2300	2186 / 2300	2103 / 2300	/ 2300
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	補助金交付	件	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
		単位あたりコスト		61500.0	61510.0	61510.0	
		単位あたりコスト		/	21 /	/	/

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	民間事業者に補助金を支出したことにより、テレビ再送信サービスとインターネット接続サービスを安定して提供できた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市の直営で実施していた場合は、令和10年まで60億円近くの負担増となる見込みであり、コストダウンできた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	平成30年度には移行対象とした4100件の移行が完了し、これによりe-ふくちやま事業の民営化が完了した。プロポーザルでの提案、協定書に基づき、運用経費の支援を行うことにより、安定してサービス提供できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>e-ふくちやま事業で提供してきた地上デジタル放送と高速インターネット接続インフラについて、民間事業者に移転した。このことにより、e-ふくちやま事業よりも多様で豊富なサービスが実現、かつ、安定して提供できている。利用者に対しては、民間事業者によってインフラとサービスが統合的にサポートされることで、利便性が向上し、市の対応業務が大幅に軽減した。榎オプテージ(旧社名:ケイオプティコム)との間で、令和10年度までの期間で、e-ふくちやま事業民営化に関する基本協定を結んでいる。また、予算措置についても、平成27年度から令和10年度までの間で21億4800万円の債務負担行為を設定している。</p>		
改善策	<p>令和3年度分から押印を廃止したことにより、民間事業者からの資料提出期間が短縮できている。今後は契約期間満了後の方針検討に向けて、契約者の動向など情報収集し分析する。また、債権管理業務の対象者数が減少したことから、管理フローを再整理したり担当者の現金取扱を見直すなど効率的に業務を行っている。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	住宅費一般管理事業				事業コード	080501530123		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立		
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931	
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課			所属長	中川 博文		
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況
根拠法令等	-							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
関連事業	-							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市営住宅の適正な維持管理、本市の建築工事の実施に関わる建築住宅課受任工事を実施するために必要となる消耗品、公用車、電子計算機等の維持管理を実施することを目的とする。							
対象者	-		対象者数	-		単位あたりコスト		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
委託先・実施主体等	㈱システムリサーチ、都築テクノサービス㈱、市営住宅入居者選考委員、(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会							
事業概要 (簡条書き)	市営住宅管理、受任工事に係る消耗品の購入、公用車・電子計算機等の維持管理費 火災等の不慮の事態に備え、市営住宅全団地について建物損害共済基金に加入 利用特財には、下記「主な利用特財」以外に、南天田団地太陽光発電売電料(諸収入)120千円【決算附属資料48頁】もある。							
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	報酬、旅費、補償、補填及び賠償金	126	市営住宅入居者選考委員報酬、居住支援協議会会議出張、地域住宅協議会会議出張、示談金					
	需用費	3,624	各種用度・物品購入、燃料費、書籍購入					
	役員費	2,300	建物・自動車損害共済、郵送料、電話代					
	委託料	2,158	市営住宅管理システム保守、公共嘱託登記、建築設計・積算システム機器					
使用料及び賃借料	1,855	公用車賃貸借、各種設計積算システム賃貸借、積算用データ使用料						

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	11,861	10,746	16,003	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①~③)	11,861	10,746	16,003	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	4,600	0			
	⑤ その他特財	11,861	10,746	11,403	0			
決算情報	① 流充用額	△ 2,832	△ 326					
	② 配当予算	9,029	10,420					
	③ 執行額	8,526	10,063					
	④ 執行率	94.4%	96.6%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	2.60 / 0.15	2.35 / 0.25	/	/			
	② 概算人件費	21,220	19,500					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	29,746	29,563						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(過年度分)	種類	土木使用料	実績金額	3,208	9	頁
		府営住宅団地貸付収入		財産貸付収入	6,489	30		
		電柱類設置貸付収入(建築住宅課)		財産貸付収入	246	31		

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	システムトラブル	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	-
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	システム保守対応件数	件	2 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	-
	単位あたりコスト		5244.0	4263.0	5031.5		
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	住宅費一般管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市営住宅の管理及び受任工事を円滑に実施するにあたり、市営住宅管理システム、積算システムの維持管理や公用車管理など必要最低限の経費であり必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市営住宅管理システム、積算システムの導入により、事務効率の向上が図られており、人件費削減に寄与した。また、長期継続契約ができるものは、価格交渉の上、長期継続契約を締結し事務の効率性を高めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	市営住宅使用料の徴収及び設計業務において、円滑な事務の遂行を図ることができ有効であった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市営住宅管理に係る使用料徴収、入退去管理及び受任工事の設計業務において使用する電子計算機を整備、維持管理しており、適正に維持管理が実施されたことで効率的な事務執行が行えた。【定性的評価】		
改善策	公用車及び電子計算機のリースについては、リースに係るコストを削減するため、引続き長期継続契約による維持管理を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	市営住宅保守管理事業					事業コード	080501530127					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文					
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	194	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	-											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市営住宅の共用設備等の保守や住宅管理人の選定、敷地内の除草など市営住宅の住環境を良好に維持し提供する。											
対象者	市営住宅住民				対象者数	1,300		単位あたりコスト	19.8			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	市営住宅・駐車場管理人、三菱電機ビルソリューションズ㈱、㈱日立ビルシステム、高岡管工、(公社)福知山市シルバー人材センター、㈱西日本エスエスシー、㈱北山組、㈱石丸浄水センター、桑原建設㈱、㈱ダスキンクラウン、㈱伊藤モーターズ、㈱昭和リース											
事業概要 (箇条書き)	市営住宅の共用設備(エレベーター、消防設備、受水槽、高架水槽等)にかかる法定点検及び保守の実施 住宅管理人及び駐車場管理人の選定、業務管理 新規募集する空家のクリーニング作業 市営住宅敷地内の除草、剪定、樹木伐採 等											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	報償費	1,329		市営住宅管理人報償費								
	役員費	410		ごみ廃棄手数料、蜂駆除、ハウスクリーニング等								
	委託料	10,864		市営住宅駐車場管理委託料、消防設備・エレベーター等点検、住宅敷地内除草 等								
	使用料及び賃借料	243		市営住宅駐車場用地賃借料								
備品購入費	829		消火器購入									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	13,229	13,236	14,870	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①~③)	13,229	13,236	14,870	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	13,229	13,236	14,870	0				
決算情報	① 流充用額	979	633						
	② 配当予算	14,208	13,869						
	③ 執行額	14,136	13,676						
	④ 執行率	99.5%	98.6%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	1.40 / 0.00	1.50 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	11,200	12,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	25,336	25,676							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	団地内占用料	種類	土木使用料	実績金額	524	決算附属資料	9	頁
		団地内駐車場使用料(現年度分)		土木使用料		12,757		9	
		団地内駐車場使用料(過年度分)		土木使用料		395		9	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	エレベーター故障回数	回	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	消防設備点検保守	団地	16 / 16	16 / 16	16 / 16	/ 16	16
		単位あたりコスト	775.8	883.5	854.8		
	エレベーター保守点検	団地	2 / 2	25 <sup>2</sup> / 2	2 / 2	/	市営住宅保守管理事業
	単位あたりコスト	6206.5	7068.0	6838.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市営住宅において安心した生活環境を提供する必要があるため、給水設備やエレベーターなどの保守及び法定点検を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	市営住宅の円滑な管理や人件費の削減を図るため、市営住宅の入居者や所属自治会の住民から住宅管理人と駐車場管理人を選任して、入居者のニーズを反映した効率性の高い住宅管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	市営住宅の設備を長期的に安全に利用するためには、定期的な保守点検が必要であり有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	設備が原因となる事故等を未然に防止し、住民の生活に欠かせない設備等の保守点検や住宅の保守管理が効果的に実施できた。		
改善策	設備自体の老朽化により、メンテナンスだけでは維持できなくなることを予測し、こまめな点検を継続して実施し、必要に応じて改修、更新作業を行う。 樹木の繁茂、立木の腐朽等による不測の事故を防ぐため、年間計画に基づき計画的に伐採、剪定を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	市営住宅修繕事業					事業コード	080501530129					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課			所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	194・195	頁
計画期間	開始年度	昭和28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	市営住宅改善事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	自力では適正な住宅の確保が困難な世帯に対して、住宅セーフティネットの機能として、市営住宅の良好な住環境を提供する。											
対象者	市営住宅入居者			対象者数	1,300		単位あたりコスト	37.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	大栄工業(株)、(株)シービル、(有)さわ辰工務店、ミツワ建設(株) ほか											
事業概要 (箇条書き)	市営住宅の老朽化に伴う施設、設備の小修繕、空家募集等に伴う空家修繕、畳の表替え、ふすまの貼替等を行い住環境の整備を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)		主な業務内容								
	需用費	15,442		市営住宅修繕、畳襖修繕								
	役員費	1,057		配管詰まり清掃作業、漏水箇所点検、給湯器点検作業ほか								
	工事請負費	9,602		市営住宅空家改修工事								
	委託料	217		土砂撤去作業								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	28,598		29,420		29,820		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0		0		0		0		
		次年度繰越	0		0		0		0		
	小計(①～③)	28,598		29,420		29,820		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	28,598		29,420		29,820		0			
決算情報	① 流充用額	3,832		△ 288							
	② 配当予算	32,430		29,132							
	③ 執行額	31,839		26,318							
	④ 執行率	98.2%		90.3%							
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	2.60 / 0.00		2.85 / 0.00		/		/			
	② 概算人件費	20,800		22,800							
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>		52,639		49,118							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(現年度分)		種類	土木使用料		26,318		決算附属資料	9	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	入居がある団地	戸	733 / 1025	700 / 1025	684 / 1025	/ 1025	670
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	施設修繕	戸	336 / 650	350 / 650	268 / 650	/ 650	-
		単位あたりコスト		100.1	91.0	98.2	
	空家修繕	戸	12 / 5	27 <sup>15</sup> / 15	4 / 6	/ 6	市営住宅修繕事業
単位あたりコスト			2802.7	2122.6	6579.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	住生活の支障となる維持修繕を行うことにより、居住性の維持が図られている。空家についても、予算に応じた、計画性をもった募集戸数にて実施を行い、市民ニーズに答えている。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	維持修繕においては、不良個所のみ補修を行うなど、コスト削減に努め、住宅使用料を財源にするなど努めている。	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	適切な維持管理を行うことにより、住環境の維持や建物の長寿命化が図れ、市民満足が得られている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	住確保配慮者に対する住宅セーフティネットとして有効であり、老朽化した建物の住環境の維持、向上のために有効である。修繕を行うことで、住環境の維持はもちろんのこと、市民サービス、満足度の向上にも繋がる。		
改善策	マネジメントや建替え等で住宅管理戸数の削減や改修、改善工事を行い長寿命化を図り修繕費の削減を行う計画である。雨漏り等突発的な修繕もあるが、個所数は減少傾向にある。今後も早期に対応し、長寿命化に努めたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	市営住宅改善事業					事業コード	080501530130					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課			所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	195	頁
計画期間	開始年度	平成14年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	市営住宅修繕事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、高齢化対応をはじめ、居住環境の改善を図る。											
対象者	市営住宅入居者	対象者数	1,300	単位あたりコスト	71.2							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	㈱サンワコン、㈱ベストリビング、㈱イチケン、タキノデンキ㈱、福知山都市ガス㈱、㈱幾北スキル、真下塗装工業㈱、久世電気工業㈱、ホソミデンキ、森下電設工業 ほか											
事業概要 (箇条書き)	外壁改修工事 外灯LED化改修工事 ガス漏れ警報器取替工事 給湯器更新工事 給水ポンプユニット更新工事 ほか											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	工事請負費	68,953	夕陽が丘団地外壁改修ほか工事、秋津が丘団地給湯器更新工事、南佳屋野団地1棟、西佳屋野団地手摺									
	委託料	5,038	塗装工事、岡ノ三団地ほか外灯LED化改修工事、ガス漏れ警報器取替工事、市営住宅遊具撤去工事									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	99,000	79,300	90,520	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0			
		次年度繰越	0	0				
小計(①~③)	99,000	79,300	90,520	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	36,000	28,110	28,500	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	36,000	31,900	28,500	0			
	⑤ その他特財	27,000	19,290	33,520	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	99,000	79,300					
	③ 執行額	94,493	73,992					
	④ 執行率	95.4%	93.3%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	2.17 / 0.00	2.32 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	17,360	18,560					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	111,853	92,552						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅改善事業(社会資本整備総合交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	22,639	18	頁
		市営住宅改善事業(公営住宅建設)		土木債		30,400	54	
		市営住宅使用料(現年度)		土木使用料		20,952	9	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	公営住宅の長寿命化	戸	0 / 0	112 / 112	180 / 180	/ 298	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	長寿命化改善工事	戸	0 / 0	112 / 112	180 / 180	/ 298	-
		単位あたりコスト	0.0	843.7	411.1		
	ガス、火災警報器更新工事	戸	0 / 0	2936 / 146	108 / 108	/ 172	市営住宅改善事業
	単位あたりコスト	0.0	694.8	685.1			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市営住宅の機能性向上改修や設備の改善を計画的に行い、居住性の向上および建物の長寿命化が図られた。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	複数棟の工事を一括発注することによる経費削減や、ランニングコストも視野にいれた工法選択によりコスト削減を図った。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	建物の長寿命化など、住環境の維持、向上のため、改善工事を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市営住宅の長寿命化や住環境の維持を行う上で必要な事業であり、市民サービス、満足度の向上にも繋がっているため計画的に、継続して実施する必要がある。		
改善策	何れの改修も入居者の理解、協力が必要であるが、住戸内の改修においては断られる場合がある。事業の内容や、必要性を十分に説明し理解が得られるよう努めたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	市営住宅明渡し事業			事業コード	080501530133						
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち		政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備		施策コード	931						
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課		所属長	中川 博文						
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	195	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	公営住宅法、福知山市営住宅条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	-										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市営住宅使用料の悪質な滞納や不正同居などを解消し、市営住宅住民の公平性を確保する。										
対象者	市営住宅使用料滞納者	対象者数	100	単位あたりコスト	54.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	南シミズエンタープライズ										
事業概要 (箇条書き)	公営住宅使用料の悪質な滞納者(支払請求に応じない、納入約束を守らない等)に対して法的措置を行った。 明渡し訴訟 2件										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容								
	役員費	198	強制執行に係る裁判所執行官予納金、印紙代、定額小為替料金等								
	委託料	1,034	市営住宅明渡業務委託料(2件)								

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,440	1,440	1,440	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	1,440	1,440	1,440	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,440	1,440	1,440	0				
決算情報	① 流充用額	△ 1,309	△ 19						
	② 配当予算	131	1,421						
	③ 執行額	49	1,232						
	④ 執行率	37.4%	86.7%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.40 / 0.50	0.40 / 0.35	/	/				
	② 概算人件費	4,600	4,180						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,649	5,412							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	市営住宅使用料(過年度分)	種類	土木使用料	実績金額	1,232	決算附属資料	9	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	判決、和解件数	件	1 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	訴訟件数	件	1 / 2	2 / 2	2 / 2	/ 2	-
	単位あたりコスト		32.0	24.5	616.0		
	単位あたりコスト		/	31 /	/	/	市営住宅明渡し事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>納付の公平性が確保できなければ、行政制度への信頼は揺らぎ、市営住宅の管理運営に大きな支障をきたすことは明白である。</p> <p>市営住宅の使用料は、入居者の所得に応じた応能家賃であり、さらに市独自の減額制度や猶予制度を設けているなかで、悪質な滞納者に対して毅然とした態度を示すため、本事業は必要なものである。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>市営住宅使用料は民事債権であるため、自力執行は法により禁じられており、賃貸借契約の解除や明渡し、債権の強制執行は、訴訟等法的措置に拠らなければならず、他の代替手段がない。</p> <p>職員による代理人指定をすることにより、訴訟費用のコスト削減ができた。</p>	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>訴訟にあたっては、督促や催告書等の送達などの事前準備のほか、弁護士費用等、期間・費用を要することや、訴訟の実績を積み重ねることにより他の滞納者に対する抑止力となる有効性を考慮すると、現在の人員で成果・実績件数は妥当である。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和4年度から2件の市営住宅明渡し訴訟を提起し勝訴となり、令和5年度に継続して強制執行を行い明渡しに至った。以降の年度において、引き続き高額滞納者等に対して明渡し訴訟を行う。</p>		
改善策	<p>賃貸借契約の解除を求める場合は、明渡し訴訟による必要があるが、債権保全だけであるなら、支払督促や公正証書等においても債務名義が訴訟に比べ、容易に債務名義が確保できることから積極的な活用を検討していきたい。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	南佳屋野団地ほか建替事業						事業コード	080502202301		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立			
	施策名	1 豊かな生活空間の整備						施策コード	931	
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文			
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	195 頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和21年度	関連計画名	福知山市公営住宅等長寿命化計画			R6現在の状況	継続中
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
関連事業	-									

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。									
対象者	市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地入居者				対象者数	232		単位あたりコスト	51.2	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
委託先・実施主体等	(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会									
事業概要 (箇条書き)	老朽化した市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の統合建替を実施する。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)			主な業務内容					
	委託料	10,281			市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の土地境界確定、図面作成業務					

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0	10,300	1,650	0	0	0	0	
	② 補正予算	0	0	0	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
		次年度繰越	0	0	0	0	0	0	0
小計(①~③)	0	10,300	1,650	0	0	0	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0	0	0	0	
	② 国支出金	0	5,150	825	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	5,150	825	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0	0	0	0	
	② 配当予算	0	10,300	0	0	0	0	0	
	③ 執行額	0	10,281	0	0	0	0	0	
	④ 執行率	0.0%	99.8%	0	0	0	0	0	
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.00 / 0.00	0.20 / 0.00	/	/	/	/	/	
	② 概算人件費	0	1,600	0	0	0	0	0	
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	0	11,881	0	0	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	南佳屋野団地ほか建替事業	種類	土木費国庫補助金	実績金額	5,140	決算附属資料	19	頁
		市営住宅使用料(現年度分)		土木使用料		5,140		9	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	登記(土地)整理	団地	/	/	2 / 2	/ 2	0
		単位あたりコスト			5140.5		
		単位あたりコスト		33 /	/		南佳屋野団地ほか建替事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>老朽化した市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の統合建替に係る事業面積及び所有者の確認のため公共嘱託登記を実施し、有効な事業進捗を図る。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>老朽化した市営住宅南佳屋野団地、西佳屋野団地の統合建替に係る公共嘱託登記を単価契約をもとに算出した額により契約することで、効率よく進捗している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>単価契約により、全庁的な公共嘱託登記業務の単価が平準化され、コストの削減も見込まれる。 令和5年度には、事業予定地の境界立会や所有権調査等を実施した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、現在つつじが丘・向野団地建替でPFI方式によりVFMを見込んで実施中であるが、その民間活力を生かしたPFI方式も検討に入れつつ地元、関係課等と協議を進めていきたい。 令和5年度にて、事業予定地の境界や所有者、筆数等実施しないよう把握した上で、分合筆や地積更生をかけていきたい。 今後事業を進めるにあたって、周辺との街づくりも含めた事業として近隣住民や周辺自治会等の意見を集約してから課題整理をすすめていきたい。</p>		
改善策	<p>現在つつじが丘・向野団地建替をPFI方式にて実施中であるが、この南佳屋野・西佳屋野団地建替についてもVFMが創出されることを考慮し検討することによりコスト削減に努めたい。また、近隣自治会との対話を繰り返し丁寧な説明で理解を求め、スムーズな事業進捗を図りたい。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	つつじが丘・向野団地建替事業						事業コード	080502530145				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35030000 建設交通部 建築住宅課				所属長	中川 博文					
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	02 住宅建設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	196	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	つつじが丘・向野団地建替事業基本計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市公営住宅等長寿命化計画、PFI法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	-											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数を超過し老朽化した市営住宅団地の建替を行い、市民の安心・安全と居住水準の向上を図る。											
対象者	つつじが丘・向野団地入居者				対象者数	150		単位あたりコスト	8,644.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	東し建設株式会社京滋支店											
事業概要 (箇条書き)	老朽化したつつじが丘、向野団地の建替をPFI手法により実施する。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	需用費	329	トナーカートリッジほか消耗品									
	委託料	1,289,200	令和5年度の第1期棟建設出来高費									
	使用料及び賃借料	297	公用車リース料(12か月分)									
	旅費	8	会議出席に係る出張									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	311,589	1,375,767	833,710	0				
	② 補正予算	0	△ 85,800	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0	0	0			
	小計(①~③)	311,589	1,289,967	833,710	0				
予算財源内訳	① 一般財源	0	50	0	0				
	② 国支出金	155,210	668,850	410,500	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	155,200	620,300	410,500	0				
	⑤ その他特財	1,179	767	12,710	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	311,589	1,289,967						
	③ 執行額	311,130	1,289,834						
	④ 執行率	99.9%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.74 / 0.00	0.85 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	5,920	6,800						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		317,050	1,296,634						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	つつじが丘・向野団地建替事業(社会資本整備総合交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	668,850	決算附属資料	18	頁
		つつじが丘・向野団地建替事業(公営住宅建設)		土木債	620,300	54			
		市営住宅使用料(現年度分)		土木使用料	683	9			

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	事業進捗率	%	1 / 100	9 / 100	40 / 100	/ 100	100
(アドバイザー、土地売買、本契約)			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	地元協議、説明会(周辺含)	回	5 / 12	11 / 12	4 / 12	/ 12	-
	単位あたりコスト		0.0	28284.5	322458.5		
	単位あたりコスト		/	35 /	/		

つつじが丘・向野団地建替事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	民間活力導入による建設等のコスト比較を行い、有効な事業推進を図る。令和5年度については、第1期棟の躯体工事を完了し、現在は内外装仕上工事の施工中である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	民間活力導入による建設等によりコストの削減が期待できる。VFM(PFI方式と従来方式と比べた削減率)は約9%を見込んでおり、一括発注により事業も効率よく進捗している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	民間活力導入による建設等によりコストの削減が期待できる。令和5年度までは、多少遅れはあるもののスムーズに事業進捗しており、設計から現場施工まで一括しての監理で、職員の負担軽減につながっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	福知山市公営住宅等長寿命化計画に基づく建替事業であり、居住水準の向上のためにも重要な事業である。また、PFI手法による発注により、VFM効果とスムーズな進捗管理等、民間活力を最大限生かしたい。令和5年度時点で、第1期棟の躯体工事が完了し内外装の仕上工事を施工している。今後事業を進めるにあたって、近隣住民、自治会への事業の理解や、入居者の引越し、スムーズな既存住宅の解体や余剰地の利用、また建設材料の物価高騰による受注額増についても課題とらえている。		
改善策	福知山市での初めてのPFI手法による事業なので、不安要素はあるがスムーズな進捗になるよう積極的な事業者との協議を図りたい。近隣住民には、自治会をつうじて説明することにより理解を得るとともに、事業の遅延にならないよう入居者への丁寧な説明と対応を密に実施していく。また、建設材料の物価高騰については、単価の動向を把握しつつ適正に対応していきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	既設公園管理事業					事業コード	080404530201		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立			
	施策名	1 豊かな生活空間の整備			施策コード	931			
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	岡部隆幸			
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費		頁	
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R6現在の状況	
根拠法令等	都市公園法								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
関連事業	公園施設長寿命化対策事業、福知山市動物園活性化事業、長田野工業団地利活用増進事業								

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	都市公園及び三和町の公園を適正に維持管理を行うことで、安心・安全な公園環境を提供する。							
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	3.5			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
委託先・実施主体等	公益財団法人 福知山市都市緑化協会、公益社団法人 福知山市シルバー人材センター、(株)門野組ほか							
事業概要 (箇条書き)	・都市公園及び植物園の指定管理者制度による日常管理 ・三和町の公園の維持管理、公園管理に関する一般経費 ・伯耆丸公園法面崩壊対策工事、福知山城公園改修工事など ○主な利用特財(下記以外) 野生鳥獣救護事業 / 土木費府委託金 / 420千円 / 29頁 電柱類設置貸付収入(都市・交通課) / 財産貸付収入 / 4千円 / 31頁 都市公園等 / 雑入 / 623千円 / 44頁 急速充電器利用料 / 雑入 / 373千円 / 47頁 既設公園管理事業(緊急自然災害防止対策) / 土木債 / 48,500千円 / 54頁 既設公園管理事業(地域活性化) / 土木債 / 10,800千円 / 54頁							
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					
	需用費・役務費	2,583	三和町公園水道代、電気代、電話、ごみ廃棄手数料、各公園修繕等					
	委託料	176,423	指定管理料、三和町公園清掃業務等、伯耆丸公園空洞調査業務等					
	使用料及び賃借料	4,717	公園灯LED照明化事業貸借、軽貨物自動車リース					
	工事請負費	62,952	各公園改修工事にかかる費用(伯耆丸公園法面崩壊対策工事、福知山城公園改修工事ほか)					
	負担金補助及び交付金	474	土地改良施設維持管理適正化事業負担金ほか					

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	237,432	339,007	185,552	0	
	② 補正予算	△ 3,000	0	0	0	
	③ 繰越予算	7,300	△ 90,150	90,150	0	
	前年度繰越	7,300	0	90,150		
	次年度繰越	0	△ 90,150			
小計(①~③)	241,732	248,857	275,702	0		
予算財源内訳	① 一般財源	181,597	168,305	170,585	0	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	420	420	420	0	
	④ 地方債	40,300	62,400	90,100	0	
	⑤ その他特財	19,415	17,732	14,597	0	
決算情報	① 流充用額	△ 1,697	△ 822			
	② 配当予算	240,035	248,035			
	③ 執行額	237,270	247,149			
	④ 執行率	98.8%	99.6%			
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	1.35 / 0.00	1.07 / 1.60	/	/	
	② 概算人件費	10,800	13,040			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	248,070	260,189				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	都市公園占用料	種類	土木使用料	4,153	9
		自動販売機設置貸付収入		財産貸付収入	6,739	32
		三段池公園ネーミングライツ		雑入	2,420	43
			実績金額		頁	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	市民ボランティア登録者数	人	36 / 50	36 / 50	36 / 50	36 / 50	50
都市公園有料施設利用人数	人	224644 / 502500	333632 / 502500	389845 / 502500	502500	502500	502500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	都市公園管理箇所	箇所	96 / 96	96 / 96	96 / 96	96	96
	単位あたりコスト		1923.0	2471.6	2574.5		
	管理面積	m <sup>2</sup>	1866425 / 1866425	1866425 / 1866425	1866425 / 1866425	1866425	1866425
	単位あたりコスト		0.1	0.1	0.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園は、良好な都市環境、災害時の防災拠点、レクリエーションや健康運動、文化活動、地域間の交流・連携の拠点など、さまざまな役割を併せ持つオープンスペースであり、市民活動の場を適切かつ安全に維持管理することは必要不可欠である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者制度により、民間事業者のノウハウを用いて包括的に維持管理や有料施設の運営を行うことで、直轄で行うよりも効率的かつスピード感があり、コスト削減を図りながら事業を実施できている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園管理を、自治会や市民団体と協働し、行うことにより地域に愛着を持つきっかけとなっている。</li> <li>市民からの要望や苦情に直結して事業であり、迅速に対応していくことで市民満足度の向上を図ることができる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>繁忙期の土日祝日の悪天候の影響もあり、動物園の来園者数はR5に比べ減少した。一方で悪天候でも室内で遊ぶことのできる児童科学館では、来園者数が開館後最大の4万人を超えた。</li> <li>植物園では、緑化啓発や集客増に向けて、三段池公園内での講座開催だけでなく、小学校や公民館での出張講座も開催している。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園利用者のニーズを把握し、管理運営等を改善していくことにより、公園利用者の増加を図る。</li> <li>動物園、科学館、植物園だけでなく、スポーツ施設とも連携を強めることにより、三段池公園一帯として一層の集客を図る。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	都市公園等環境整備事業					事業コード	080404530209					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	岡部隆幸						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 公園管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	192	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	R5年度	関連計画名	-			R6現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	都市公園法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	既設公園管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	都市公園等の大きく育ちすぎた樹木が、近隣の民家に侵入したり、道路側にはみ出し周辺の通行の妨げや視距を悪くしているため、計画的に剪定・伐採を実施することにより、周辺環境の改善を図る。											
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	伊東木材(株)、福知山地方森林組合											
事業概要 (箇条書き)	都市公園等で、通行や公園利用の妨げとなっている樹木の伐採・剪定を行う。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	委託料	7,535	都市公園樹木伐採業務									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	8,000	8,000	0	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0			
		次年度繰越	0	0					
	小計(①~③)	8,000	8,000	0	0				
予算財源内訳	① 一般財源	8,000	8,000	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	1,697	△ 465						
	② 配当予算	9,697	7,535						
	③ 執行額	9,697	7,535						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 <small>正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員</small>	0.10 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	800	640						
トータルコスト <small>(予算執行額+概算人件費)</small>	10,497	8,175							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	見直し改善公園数	箇所	4 / 6	9 / 7	8 / 9	/	22
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	伐採公園数	件	4 / 6	9 / 7	8 / 9	/	22
	単位あたりコスト		1748.0	1077.4	941.9		
	単位あたりコスト		/	39 /	/	/	都市公園等環境整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の樹木の適切な維持管理は、利用者だけでなく周辺住民にとっても、良好な住環境を保持していくうえで必要である。</li> <li>地元からの要望を受けて、現地調査を実施し、その緊急度に応じて優先順位を決めて事業を実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ごとに取りまとめ発注することにより、工期短縮や、スケールメリットによるコスト削減を図っている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>樹勢の弱ったの樹木や、大きくなりすぎた樹木を計画的に減らしていくことで、台風や豪雨等の影響により、倒木等による被害を軽減できる。</li> <li>公園利用の妨げになっている樹木や、道路や近隣に越境した樹木、地元自治会から伐採要望が多い樹木等を中心に伐採・剪定を実施した。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模な樹木伐採・剪定が必要な公園は、増加傾向にある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度で、当初計画していた公園については一定対策が完了したため、事業としては一旦休止となるが、対象公園以外の樹木についても成長していくため、引き続き注意が必要である。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山市動物園活性化事業						事業コード	080405202301				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	3 生活基盤の確立					
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課				所属長	岡部隆幸					
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	193	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和9年度	関連計画名	-			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	都市公園法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	既設公園管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	本市において主要な観光施設の一つである、福知山市動物園について施設の整備や改修を行うことにより、利用者満足度や利便性の向上を図る。											
対象者	来園者	対象者数	80000(目標)		単位あたりコスト							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	株式会社伊藤・梅原建築設計事務所、伊東木材(株)、(株)畿北スキル、中丹住工(株)、芦田商事(株)ほか											
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレの建替え(授乳室併設)にかかる設計業務</li> <li>・動物園内の樹木剪定・伐採</li> <li>・園舎手すり等の再塗装</li> <li>・ふれあい広場の改修</li> <li>・ベンチ等の休養施設の備品購入</li> </ul>											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	委託料	5,688	動物園便所建替えに伴う設計業務、園舎手摺ほか塗装業務									
	工事請負費	3,517	施設改修工事									
	需用費	18	消耗品購入									
	役務費	194	建築確認申請手数料ほか									
備品購入費	1,533	ベンチほか購入										

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	11,000	34,440	0			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0	0	0		
		次年度繰越	0	0	0	0		
	小計(①~③)	0	11,000	34,440	0			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	2,700	27,000	0			
	⑤ その他特財	0	8,300	7,440	0			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	0	11,000					
	③ 執行額	0	10,949					
	④ 執行率	0.0%	99.5%					
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00 / 0.00	0.15 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	0	1,200					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0	12,149					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山市動物園活性化事業基金繰入(ふるさと納税基金)	種類	基金繰入金	8,428	決算附属資料	40	頁
		福知山市動物園活性化事業(地域活性化)		土木債	1,700		54	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標	
	来園者数	人	/	/	61293 / 67500	/	70000	80000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標	
	計画施設の整備率	%	/	/	9 / 9	/	44	100
	単位あたりコスト				1216.6			
	単位あたりコスト		/	41 /	/			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズを踏まえた、施設改修である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設を活かしながら、改修を実施することでコスト削減を図っている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福知山市動物園は本市において主要な観光施設の一つであり、施設改修等により活性化していくことで、三段池公園全体の賑わい創出につながる。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>集客を増やすには、施設整備や改修などハード整備を進めていくのと同時に、施設運営面での飽きさせない工夫や、本市動物園ならではの強みをもっとPRしていく必要がある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な広報等により動物園の魅力をアピールし、集客増につなげていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	公園施設長寿命化対策事業					事業コード	080405530260					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	3 生活基盤の確立						
	施策名	1 豊かな生活空間の整備				施策コード	931					
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課			所属長	岡部隆幸						
会計情報	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公園施設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	193	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公園長寿命化計画			R6現在の状況	継続中		
根拠法令等	都市公園法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	既設公園管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公園施設長寿命化計画に基づいた施設改修により、安心・安全な公園環境の確保や、公園施設に係るトータルコストの低減を目的とする。											
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	1.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	吉村工業株式会社、株式会社SHO・DAI、株式会社福多電気商会福知山営業所ほか											
事業概要 (箇条書き)	・防災拠点となっている三段池公園の園路や施設の改修・更新を行う。 ・街区公園においては、耐用年数を大幅に超過した遊具の更新を行う。 ○主な特定財源 公園施設長寿命化対策事業(公共事業等)/土木債/23,400千円/54頁 公園施設長寿命化対策事業(公共事業等)(繰越明許分)/土木債/6,900千円/54頁 公園施設長寿命化対策事業(公適・長寿命化)/土木債/3,300千円/54頁											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容									
	工事請負費	58,823	各公園施設長寿命化対策工事									
	工事請負費(繰)	15,410	各公園施設長寿命化対策工事									

## III 予算執行状況

区分	R4(評価前年度)	R5(評価年度)	R6(本年度)	R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	108,000	61,600	42,000	0				
	② 補正予算	△ 4,100	0	0	0				
	③ 繰越予算	14,590	15,410	0	0				
	前年度繰越	30,000	15,410	0					
	次年度繰越	△ 15,410	0						
小計(①~③)	118,490	77,010	42,000	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	805	0	0				
	② 国支出金	44,795	36,705	19,500	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	58,800	36,200	20,200	0				
	⑤ その他特財	14,895	3,300	2,300	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	118,490	77,010						
	③ 執行額	117,343	74,232						
	④ 執行率	99.0%	96.4%						
人権工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.25 / 0.00	0.45 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,000	3,600						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	119,343	77,832							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公園長寿命化対策事業(防災・安全交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	26,100	決算附属資料	18	頁
		公園長寿命化対策事業(防災・安全交付金) (繰越明許分)		土木費国庫補助金		7,704		18	
		公園長寿命化対策事業基金繰入(公共施設総等総合管理基金)		基金繰入金		3,300		39	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	都市公園有料施設利用人数	人	224644 / 502500	333632 / 502500	389845 / 502500	/ 502500	502500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	長寿命化工事件数	件	3 / 6	4 / 5	7 / 6	/ 12	22
	単位あたりコスト		41293.7	29335.8	10604.6		
	単位あたりコスト		/	43 /	/		/公園施設長寿命化対策事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な施設改修や更新は、公園施設に係るトータルコストの低減の観点かだけでなく、利用者が安心して安全に利用できる公園環境を確保していくうえで必要である。</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国庫補助金や起債などの有効な財源を確保し事業を実施している。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に長寿命化対策を実施することによりライフサイクルコスト削減や維持管理にかかるトータルコストの低減が図れている。</li> </ul>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園施設長寿命化計画により、施設の健全度判定を行っており、優先順位が示されているが、災害時における役割や、利用頻度、利用者ニーズなども考慮し事業を進めていく必要がある。</li> <li>施設によっては、国庫補助の対象とならないものもある。</li> <li>年々改修や更新が必要な施設は増加傾向にある。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>健全度判定の結果だけでなく、利用頻度、利用者ニーズなど、総合的に順位を判断し事業を進めていく。</li> <li>有効な財源を確保し、更新や改修を進めていく必要がある。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--